

【基本集計 平成21年度平均】

結果の概要

- 平成21年度平均の完全失業率は5.2%と、前年度に比べ1.1ポイント上昇(上昇幅は過去最大)
・年度平均が5%台となるのは、平成15年度(5.1%)以来6年ぶり
※平成14年度(5.4%)に次ぎ、過去2番目の高さ
- 平成21年度平均の完全失業者は343万人と、前年度に比べ68万人増加(増加幅は過去最大)

(主な求職理由別)	(完全失業者数) (対前年度増減数)
非自発的な離職による者	151万人と、54万人増加
定年又は雇用契約の満了	38万人と、12万人増加
勤め先や事業の都合	113万人と、42万人増加
自発的な離職による者	103万人と、4万人増加
学卒未就職者	14万人と、3万人増加
収入を得る必要が生じたから	45万人と、6万人増加

- 平成21年度平均の就業者は6265万人と、前年度に比べ108万人減少(減少幅は過去最大)

(主な産業別)	(就業者数) (対前年度増減数)
製造業	1059万人と、78万人減少
サービス業(他に分類されないもの)	463万人と、20万人減少
建設業	513万人と、19万人減少
卸売業、小売業	1055万人と、10万人減少
医療、福祉	630万人と、26万人増加

図 完全失業率及び就業者(対前年度増減)の推移

